

おくすりの名前

吸入回数

(手技確認における8つのポイント※)

※(一社)吸入療法アカデミー方式

- ①デバイス保持(水平) ②カウンター指差し確認 ③通気口の位置確認 ④ボタン・レバー・カバー操作は最後までしっかり行き指を離す ⑤口角を閉じる ⑥吸い方(強く深く:掃除機のように) ⑦息止め(指折り5つ) ⑧うがいは必ず行う(ガラガラ、ブクブク各3回)



- ・カウンターが0になった回の吸入が終了しましたら次回からは新しい吸入器を使用して下さい
- ・カウンターが0になった後、もう一度ボタンを押すとロックがかかりボタンは押せなくなります

(毎日の操作)

(注意点)



(約1分50秒)



(約1分)

《吸入映像》※1

- ・おもて面を下にすると充填されない
- ・セット後は、吸入器を傾けると薬剤がこぼれることがあるので振ったり、逆さにしない

| 手順 | | ポイント |
|---------|--|--|
| ① 薬剤の準備 | <input type="checkbox"/> 薬剤セット時の操作はカウンター面を上水平に持ち行う <input type="checkbox"/> キャップを完全に開け固定する(カチッと音がする) (A) <input type="checkbox"/> カウンターで残量確認する <input type="checkbox"/> 押しボタンをカチッと音がして止まるまで押し離す (B) | ・水平に持ち、しっかり操作しないと正確な1回分量がセットされない ・続けて2回ボタンを押しても1回分しかセットされず薬が無駄になる |
| ② 息吐き | <input type="checkbox"/> 無理のない程度に息を吐き一旦止める(吸入口には息を吹きかけない) | ・息吐きをしないとしっかり吸えない |
| ③ 吸入 | <input type="checkbox"/> 吸入口をくわえ、口角を閉じ、強く深く、息を最後まで吸い込む(通気口をふさがない) | ・息がもれないように口角を閉じる ・イメージで吸う |
| ④ 息止め | <input type="checkbox"/> 吸入器から口を離し、口を閉じ、指折り5つ息を止める(無理のない程度で良い) | ・肺により多くの薬を定着させるため |
| ⑤ 息吐き | <input type="checkbox"/> 鼻からゆっくりと息を吐く | ・口から吐くと速くなることもある |
| 繰返し | *吸入器内の薬を完全に吸いきる場合は②~⑤を繰り返す *2吸入する場合は1分程度おいて①~⑤を繰り返す | |
| ⑥ 後片付け | <input type="checkbox"/> キャップをしっかり閉じる | ・キャップを閉じる前に吸入口を拭く |
| ⑦ うがい | <input type="checkbox"/> 吸入後はガラガラうがい、ブクブクうがいを各3回ずつ行う | ・口腔内及び咽頭についた薬を洗い流す |

呼気量≒吸気量

・深くとは「長く吸う」と解釈する
 ・トレーナー(笛)使用時は、安定した音が長く続くように指導する

・吸入口に息を吹きかけないようにする意味も込めて鼻から抜くことが良い
 ・ステロイドに眠っては鼻腔内における抗炎症作用が期待できるとの報告がある
 吸入後に鼻から息を吐きだすことで気管支などに定着できなかった薬が鼻の中に定着する
 その為、吸入後に鼻から息を吐きだすことでアレルギー性鼻炎や好酸球性副鼻腔炎に効果が期待できる

吸入ステロイドは口腔内カンジダや嚔声などの副作用を防止するため、吸入後すぐにうがいをする
 それ以外の吸入薬も統一化を図るため、うがいを行うようにする

保険調剤薬局名(薬剤師名) : _____ 年 月 日